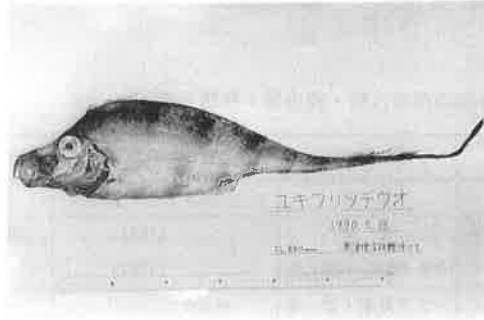


トピックス



ユキフリソデウオ 雪振袖魚

1990年5月13日、魚津市本新（埋没林館の付近）で海面を漂っていたユキフリソデウオ（全長88cm）が捕獲されました。取りに行ったときにはすでに死亡しており、標本にして展示しました。

ユキフリソデウオはフリソデウオ科に属し、銀白色の体に薄赤色の鰭を持っています。その体型から「紐体類・チュウタイルイ」とよばれるリュウグウノツカイに近い仲間で、富山県で俗にオイランと呼ばれている魚の一種です。普段は大洋の中層を漂うように泳いでいると考えられています。太平洋と大西洋の暖海域に分布しており、日本近海でもいくつかの記録がありますが、ほとんどは日本海側で記録されています。富山湾では、県西部の高岡市雨晴沖から新湊市海老江沖の定置網で、11月末から5月にかけて確認されていますが、これほどの大きさの個体は初めてです。